



令和6年度 尚絅大学・尚絅大学短期大学部入試日程

総合型選抜(第3回・自己推薦型)・社会人選抜(第3回)選考日程						
区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
					入学金	書類
総合型選抜(第3回・自己推薦型)	全学部 全学科	令和6年2月19日(月)～3月4日(月)	3月9日(土)	3月15日(金)	3月22日(金)	
社会人選抜(第3回)						

一般選抜(第1回・第2回・第3回)選考日程						
区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
					入学金	書類
<第1回> ※地方会場あり 【福岡市・鹿児島市・宮崎市】	全学部 全学科	令和6年1月15日(月)～1月29日(月)	2月10日(土)	2月19日(月)	2月28日(水)	3月4日(月)
<第2回>		令和6年2月19日(月)～2月27日(火)	3月4日(月)	3月8日(金)	3月15日(金)	3月21日(木)
<第3回>	現代文化学部 生活科学部 短期大学部(総合生活学科／食物栄養学科 ／幼児教育学科)	令和6年3月11日(月)～3月18日(月)	3月21日(木)	3月25日(月)	3月28日(木)	

大学入学共通テスト利用型選抜選考日程						
区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
					入学金	書類
<第1回>	全学部 全学科	令和6年1月15日(月)～1月29日(月)	個別試験は課さない	2月19日(月)	2月28日(水)	3月4日(月)
<第2回>		令和6年2月19日(月)～2月27日(火)		3月8日(金)	3月15日(金)	3月21日(木)
<第3回>		令和6年3月11日(月)～3月18日(月)		3月25日(月)	3月28日(木)	

編入学選抜選考日程						
区分	実施学部・学科	出願期間	選考日	合格発表	入学手続期限	
					入学金	書類
<第1回>	現代文化学部	令和6年1月15日(月)～1月29日(月)	2月10日(土)	2月19日(月)	2月28日(水)	3月4日(月)
<第2回>		令和6年2月19日(月)～2月27日(火)	3月4日(月)	3月8日(金)	3月15日(金)	3月21日(木)

大学・短期大学部オープンキャンパス 開催日 令和6年3月24日(日)

対象 高校生とその保護者、進学希望者、社会人

時間 〔学部・学科プログラム〕…………… 10:00-12:30
〔個別相談会(希望者)〕…………… 13:00-14:00

申込 **事前予約制** **申込方法** **本学ホームページ**

実施場所 **九品寺キャンパス**
現代文化学部 ……文化コミュニケーション学科
生活科学部 ……栄養科学科
短期大学部 ……総合生活学科・食物栄養学科

実施場所 **武蔵ヶ丘キャンパス**
こども教育学部 ……こども教育学科
短期大学部 ……幼児教育学科



※申込締切後に参加をご希望の場合は、入試センター(TEL:096-273-6300)までご連絡ください。 ※九品寺キャンパスにおいては、学内の駐車ができません。公共交通機関等をご利用ください。

【お問い合わせ先】 入試センター TEL.096-273-6300 FAX.096-273-6781 E-mail: nyushi@shokei-gakuen.ac.jp

尚絅高等学校 募集人員【特別進学コース】 30名 【総合進学コース】 290名	入試区分	出願期間	選考日	合格発表
	特待生(専願・併願)／専願生／特技特待生(専願)	令和6年 1月 9日(火)～ 1月12日(金)	1月23日(火)	1月26日(金)
	一般生	令和6年 2月 5日(月)～ 2月 8日(木)	2月14日(水)	2月19日(月)

尚絅中学校 募集人員／80名	入試区分	出願期間	選考日	合格発表
	第2回 特待生(専願・併願)／専願生／一般生	令和5年12月13日(水)～令和6年 1月 9日(火)	1月14日(日)	1月16日(火)
	第3回 特待生(専願)／専願生	令和6年 1月18日(木)～ 2月8日(木)	2月10日(土)	2月13日(火)

【問い合わせ先】 中高事務室 TEL.096-366-0295 FAX.096-372-8341 E-mail: jhjim@shokei-gakuen.ac.jp

後 塞	金木犀や銀杏、紅葉が見られる季節となった。毎日肌寒いが、学生の笑い声や笑顔を見ると心が温くなる。秋風に吹かれ、枯葉が散ると共に嫌な思い出を捨て、新しい幸せが皆さんに訪れることを願う。 (M・K)
----------------	--

○皆様のご意見・ご感想をお寄せください。 編集・発行/尚絅学園 編集スタッフ/久野恭義、新納ゆりか、齊藤麻理恵、倉寄真優、松下尚史、増本紗希
〒862-8678 熊本市中央区九品寺2丁目6-78 TEL.096-364-0116 FAX.096-363-6520 メールアドレス koho@shokei-gakuen.ac.jp



尚絅大学 尚絅大学短期大学部
尚絅高等学校 尚絅中学校 (中高一貫)
幼保連携型認定こども園
尚絅大学附属こども園

尚絅大学・
尚絅大学
短期大学部
ホームページ



尚絅中学・
尚絅高等学校
ホームページ



礎
ISHIZUE

尚絅学園広報誌

2023年 秋冬号
Vol. 40



尚絅学園キャラクター
「花くま」



中学(九品寺キャンパス)

Vol.40 CONTENTS

尚絅大学 尚絅大学短期大学部…………… P1－P2
尚絅中学校 尚絅高等学校…………… P3－P4
尚絅大学附属こども園…………… P5
寄附者芳名録／同窓会だより…………… P6
入試日程／INFORMATION…………… 裏表紙





尚絅大学 尚絅大学短期大学部

オープンキャンパス企画「くまモン学イベント2023」

大学における研究や授業の魅力を広く知っていただくため、令和5年7月22日(土)オープンキャンパス企画として、くまモン学の研究成果報告、くまモン学の講義、および学生によるプレゼンテーションを行いました。

当日は、高校生、保護者の皆様、学内関係者に加え、初めて一般の方々に参加いただき、100名を超す参加者の中、賑やかに行われました。まずは、本学の教員から、くまモンそのものやくまモンが巻き起こした現象についての研究報告が行われ、来場者の皆さんも興味深そうに聞いていました。

続いて、くまモン学を学ぶ学生6グループが「くまモンファンブックの内容とクラウドファンディング」についてプレゼンテーションを行いました。

緊張しながらのプレゼンでしたが、楽しい報告や思いもよらない提案に、参加者の方々の反応で温かい雰囲気になりました。最後は、会場からの投票でグランプリ・準グランプリが決まり、受賞した学生たちは誇らしげに賞状と副賞を受け取っていました。

そしてお待ちかねのくまモンオンステージでは、参加者を大いに沸かせていました。遠方から駆けつけてくださったくまモンファンの皆様が、くまモン学を学ぶ学生を励ましてくださるなど心温まる交流が見られ、大いに盛り上がりしました。くまモンが人と人との架け橋の役目を果たしているとの研究結果が証明された場面となりました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。今後もイベントは継続していきますので、またのご来学をお待ちしています。



©2010熊本県くまモン

令和5年度 尚絅公開講座を開講

令和5年10月14日(土)、21日(土)、28日(土)の3日間にわたり、尚絅公開講座を開催しました。

この講座は、地域に開かれた大学を目指して学修の機会を提供し、生涯教育の振興に貢献することを目的としています。

今回は「38億年の命ー予測不可能な時代を生きるー」をテーマに、計9講座を開講しました。多くの受講生の方に参加していただき、大変好評でした。

尚絅公開講座	
『外国人にも伝わる「やさしい日本語」』	現代文化学部 准教授 山川 仁子
『「がん」て何?』	生活科学部 教授 今村 隆寿
『東南アジアの多文化社会のあり方〜ベトナムを中心に〜』	現代文化学部 准教授 黄 蘊
『栄養と環境〜自分のために、地球のために、サステナブルに食べよう〜』	生活科学部 講師 澤部 加奈子
『保育者の専門性の大切さ見えにくさ』	短期大学部 幼児教育学科 准教授 片桐 真弓
『デジタル社会を生き抜くために〜子どもの教育とICT〜』	こども教育学部 准教授 中村 佐里
『脳の半分を占めるグリア細胞 〜「非」神経細胞が頭と体と心をつなぐ〜』	短期大学部 食物栄養学科 教授 清水 健史
『Co-Renovation 〜リノベーションを契機としたコミュニティ形成〜』	短期大学部 総合生活学科 准教授 竹下 正高
『くまモン学の学び』	現代文化学部 教授 柳田 紀代子



©2010熊本県くまモン

令和5年度 夏季キャリアガイダンス開催



企業研究・業界研究を目的に、大学3年生と短大部1年生を対象にした「WEB合同会社説明会」を令和5年9月25日(月)からオンデマンド形式で開催しました。また、これから始まる就職活動での面接の場で、学生がしっかり実力を発揮できるよう、現時点の自身の実力を測り、成長を促すための「模擬面接講座」を令和5年9月22日(金)に開催しました。今年度は同講座と並行して「リクナビSPI試験対策講座」と「JAL客室乗務員によるマナー講座」を実施し、就職支援をより一層強化しました。

こども教育学部の先生3名が 韓国の学会で発表&受賞しました

令和5年10月12日(木)・13日(金)、こども教育学部の鄭英美教授、大江登美子准教授、中村佐里准教授が韓国の国立木浦大学で開催された韓国体育学会学術大会に参加しました。13日の韓国発達学会分科会での口頭発表では、鄭教授は最優秀発表賞、大江・中村准教授は優秀発表賞を受賞しました。韓国発達学会会長をはじめ、韓国各地の大学の先生方と意見交換し、日韓の素晴らしい学術交流を行うことができました。



発表会場で学会長や会員の皆さんと



会場の木浦大学ホール前で学会長らと

こども教育学部の学生が 釜山大学と仁済大学を訪問しました

令和5年9月16日(土)～20日(水)、こども教育学部の1年生6名と鄭英美教授が韓国の釜山大学と仁済大学を訪問し、幼児教育を学ぶ学生たちと交流しました。交流会や附属幼稚園の訪問、博物館や体験施設なども訪れ、韓国の文化にも触れながら親交を深めました。

異文化に触れ、幼児教育について国際的な視野を広げる貴重な機会となりました。友達になった韓国の学生とは、これからも交流が続くことでしょう。



仁済大学の交流会



釜山大学附属幼稚園訪問



釜山大学の学生たちと

グローバル化推進センター

第41回全日本中国語スピーチコンテスト (熊本県大会) で最優秀賞を受賞しました

現代文化学部4年生の宮本愛香さんが、令和5年10月22日(日)の「第41回全日本中国語スピーチコンテスト」熊本県大会において、課題文朗読 大学生・大学院生の部で最優秀賞を受賞しました。現在、音源審査が行われており、審査を通過すれば全国大会に出場します。また、同大会にて現代文化学部2年生の宮本来実さんも、第3位を受賞しました。

また、宮本さんは「Panda杯 全日本青年作文コンクール2023」においても、佳作を受賞しました。



4年生 宮本愛香さん

尚絅子育て研究センター

第22回公開シンポジウムを開催しました

尚絅子育て研究センターでは、保育関係者や子育てに関心のある皆様に向けて、保育や子育ての質の向上をめざした学びの機会を提供しています。その1つとして、令和5年8月5日(土)、第22回公開シンポジウムを開催しました。国立大学法人静岡大学副学長、静岡大学教育学部教授の鎌塚優子先生から「ひとり一人の発達に寄り添った支援～発達の連続性を踏まえた保育・幼児教育のあり方とは～」をテーマに講演いただきました。幼児期からの支援の大切さ、困っている本人を取り巻く集団をどう育てていくのか、小学校に育ちを繋ぐことなどについて深く考えることができました。座談会では、本学こども教育学部の矢野教授の進行により、インクルーシブ教育・保育についてのまとめがあり、尚絅大学附属こども園からの報告がありました。参加者それぞれがインクルーシブ保育について問い続ける機会となりました。



「きくよう防災フェスタ2023」に参加しました

尚絅大学と菊陽町は、地域社会の発展と人材の育成などに寄与することを目的とし、包括連携協定を結んでいます。その協定に基づき、生活科学部の学生を中心とした献血サークル及び野外活動サークルが令和5年10月29日(日)の「きくよう防災フェスタ2023」で炊き出しボランティアと防災食の試食を実施しました。管理栄養士を目指す学生たちが菊陽町の防災意識を高めるイベントに参加することにより、菊陽町の地域づくりや防災について学ぶことができました。学生たちも新型コロナウイルスによる活動自粛のため、実地での機会がありませんでしたが、今回は貴重な社会経験になりました。



尚絅食育研究センター

10周年記念！「尚絅ガールズ 天草さくら鯛 レシピコンテスト」上位4点を学食で提供！

今年度の学食レシピコンテストは、10周年を記念して、「天草さくら鯛」をテーマとしました。応募総数179点の中から選ばれた優秀作品4点が学食で提供されました。学生の斬新なアイデアによるオリジナルレシピは大変好評でした。

この事業は、尚絅大学及び尚絅大学短期大学部同窓会、天草地区漁業士会の支援をいただいて実施しました。



鯛だし香るスタミナラーメン



アヒージョ風パスタ



季節の鯛めし定食



鯛と梅と大葉とチーズのはさみ揚げ

栖本水産加工場の見学

令和5年10月28日(土)、本学の学生が天草市の栖本水産加工場へ見学に行きました。この見学会は、天草地区漁業士会との連携事業の一環です。当日は生簀や加工場での加工工程の見学を行いました。養殖魚の現状や安全性についての講話もあり、熊本県の養殖業について知ることができ、安全な食の生産や魚食の普及について考える機会となりました。





尚絅中学校 尚絅高等学校

文化祭

令和5年7月14日(金)、15日(土)の2日間で中高文化祭が行われました。1日目は尚絅アリーナのステージで生徒会の開会宣言を皮切りにクラブ発表が行われ、軽音楽同好会のポップな演奏、合唱部の澄んだ歌声に癒やされ、琴部のひたむきな演奏に心温まり、ダンス愛好会のキレッキレのダンスに会場は大盛り上がりでした。吹奏楽部の軽快な演奏に合わせて、高校3年部の先生方の息の合った(!?)パフォーマンスもなかなかの見物でした！

7月15日(土)、4年ぶりの一般公開となった2日目はお天気にも恵まれ、約1,200名の来場者をお迎えすることができました。ステージ部門2日目も歌やダンス、琴、三味線、そしてパトーンと、いずれもクオリティーの高い見事なパフォーマンスの連続で、会場は大いに盛り上がりました。各クラスの模擬店も大盛況で、色とりどりの店舗に元気な呼び込みの声と笑顔が溢れていました。2階ロビーや図書館で展示した、授業・部活動での書道や華道の作品も力作揃いで、普段の授業の成果発表として見応えがありました。生徒たちの一生懸命な姿や笑顔が校内のあちこちに溢れていました。



姉妹校訪問 ～韓国蔚山市鶴城女子中学校～

令和5年8月1日(火)～3日(木)の2泊3日の日程で、代表の生徒18名と引率教員3名で韓国研修旅行を行いました。初日は、釜山空港に到着後、チャガルチ市場や国際市場を見学し、蔚山市役所を表敬訪問し、熊本市長からの親書をお渡ししました。その後、姉妹校である鶴城女子中学校を訪問しました。交流会は大変盛り上がり、両校の生徒たちは日本語、韓国語、英語を交えながら好きなアイドルや学校生活について熱心にやりとりをして、すぐに打ち解けていました。2日目は、世界遺産「仏国寺」見学後にKTX(韓国高速鉄道)に乗ってソウル観光し、明洞・南大門見学、観劇などソウルでの1日を満喫しました。最終日は、景福宮、益善洞、仁寺洞を散策し、仁川港に到着後、帰路に就きました。参加した生徒たちは2学期始業式やオープンスクールで、姉妹校訪問について報告してくれました。



ニュージーランド語学研修

令和5年度は8月17日(木)～26日(土)の10日間の日程で、中学1年生～高校3年生までの計15名がニュージーランドの語学研修に参加しました。8月17日(木)早朝に学校を出発後、シンガポールで乗り継ぎ、ニュージーランドに到着したのは次の日18日(金)の正午でした。マングレマウンテンに移動し、雄大なニュージーランドの景色を堪能した後に、受け入れ校である「オネフェロ・エリア・スクール」で生徒たちはホストファミリーと対面。ひと家庭に2名ずつのホームステイで、協力し合いながら英語でのコミュニケーション力を鍛えることになりました。学校では、日本文化の発表や自らの学校生活を英語で紹介する機会もいただき、現地の文化も体験を通して学ぶことができました。短い期間でしたが、最終日はホストファミリーとの別れを惜しみ涙する生徒もいました。人種も学年も性別も宗教も生活様式も異なる環境で、たくさんの経験ができました。



第21回尚絅英語暗唱大会

令和5年9月9日(土)、尚絅大学1号館10階ホール(尚絅大学九品寺キャンパス)にて「第21回尚絅英語暗唱大会」を開催しました。午前の「小学生の部」では、小学4～6年生対象の課題暗唱部門(個人の部・ペアの部)と小学1～6年生対象の自由発表部門で40名を超える小学生の児童の皆さんが日頃の練習の成果を披露しました。午後の「中学生部門」では、中学1～3年生対象の課題暗唱部門(ペア)で、6名の生徒さんに暗唱を披露しました。これまで一生懸命に練習に取り組んできた様子が伝わる、すばらしい発表ばかりでした。



留学生紹介

9月からイタリア人留学生のエリサ・ネアグ(Elisa Neagu)さんが特別進学コース1年生のクラスに在籍しています。早速体育祭にも参加し、高校1学年マスゲームのソーラン節をクラスみんなと楽しみながら、見事に踊りました。



ゆめマート熊本×尚絅高等学校 共同開発商品を販売

高校3年1・2組のフードデザイン選択者35名が、ゆめマート熊本さんとコラボし商品開発を行いました。今年の4月から試作を重ね、『おにぎらず』『ケバブサンド』の2つを考案しました。お弁当代わりに手軽に食べられる『おにぎらず』は4種類(「十八穀米使用 焼肉卵」、「十八穀米使用 ツナマヨ玉子」、「黒米使用 焼肉卵」、「黒米使用 ツナマヨ玉子」)の組み合わせとなり、『ケバブサンド』は五穀を使用したプチパンにピリッとしたスパイシーなチキン、シャキシャキ食感の野菜を挟んだ食べ応え抜群の商品になりました。

11月2日(木)～5日(日)の4日間、ゆめマート九品寺店にて販売され、さらに11月16日(木)～12月20日(水)まで、ゆめマートの熊本市内5店舗(城山・清水・帯山・新外・九品寺)にて販売されました。



中高体育祭「敢然・燃尚 ～勝利に向けて燃えろ尚絅乙女～」

令和5年9月29日(金)、熊本県民総合運動公園パークドーム熊本にて「令和5年度 尚絅体育祭」を開催しました。今年のテーマは「精一杯競技に挑み、力を出し切って欲しい」という生徒会の思いが込められたものでした。アフターコロナで、久しぶりに保護者の方々にも観覧いただき、たくさんの方の応援をいただいで盛会となりました。



ケバブサンド



おにぎらず(4種類)



尚絅大学附属こども園

運動会

令和5年10月7日(土)に第55回運動会を実施しました。それまでの練習でも雨に悩まされることはありませんでしたが、本番も運動会日和の穏やかな天候でした。

今年は、この3年間行ってきた入場者の制限をなくし、どなたでも参加応援できる運動会となりました。230名の園児の活躍の様子を、ご来賓や保護者の方々をはじめ、約800名の観客のみなさまに見ていただき、久々ににぎやかな運動会となりました。リズム表現では、年少組は動物がかくれんぼしながら踊る様子を、年中組はドライブしながら公園や動物園、海に行った様子を表現し、たくさんの拍手をいただきました。年長組は動物サーカスの絵本を見た園児がサーカス団になり乗り物に変身したり旗を持ったパレードを披露したりしました。旗を使った迫力満点の隊形移動はとても感動的でした。



芋ほり遠足

令和5年10月26日(木)に年長組、11月2日(木)に年中組がカントリーパークに芋ほりへ行きました。春に芋苗植えを行い、その後の草取りやつるのカットはカントリーパークの職員の方に管理していただきました。

ポキッと折らないようにぐらぐらするまでは、きちんと土を取り除くことや芋がたくさん付いていることなどを教えてもらい、楽しみながら芋ほりをすることができました。

お昼ごはんは、楽しみにしていたおにぎり弁当です。おにぎりの中には園児の好きなおかずが入っています。友達と一緒にお弁当を楽しむ経験は、園児に安心感をもたらし、園児同士の関係を心地よいものにしていくことでしょう。

お世話になったカントリーパークのみなさま、ありがとうございます。



武蔵ヶ丘小児童とのどんぐり遊び

令和5年10月19日(木)、武蔵ヶ丘小学校の1年生が生活科の授業で来園してくれました。年長組とどんぐり遊びを通して交流を深めました。

まず遊戯室でお互いの紹介とあいさつをしました。園児は1つ上の先輩たちの様子を興味津々見入っていました。その後、園庭やたぬきの森でどんぐりを拾い、そのどんぐりを使って、どんぐりアートをしたり、すべり台を作りどんぐりを転がしたりして一緒に遊びました。児童と園児は「お話ししてごらん」と言わずとも、自然と会話が生まれていました。また本園卒園の1年生も複数いて懐かしそうに遊ぶ姿が印象的でした。

1年生から最後に「どんぐりをたくさんプレゼントしてくれてありがとうございます」「また遊ぶことがあったら遊びたいです」とあいさつがありました。

今後も交流活動が続いていけばと考えています。



運動能力測定

令和5年10月下旬～11月上旬に、年中・年長児は大学・短大と連携して運動能力測定を行いました。測定を通して、運動の楽しさを味わったり、いろいろな運動を覚えたり、また大学生のお姉さんと触れ合ったりしました。

6種目のうち、大学の体育館では、「ボール投げ」「両足連続跳び越し」「体支持持続時間」「捕球」をしました。「ボール投げ」では大学生から投げ方を教えてもらいました。「両足連続跳び越し」は、積み木10個を跳び終わるまでの時間を測りました。「体支持持続時間」は、足が補助台から離れてから体重を支えられなくなるまでの時間を測りました。「捕球」はゴムボール10球のうち何回キャッチできたかを測定しました。グラウンドでは「25m走」をしました。

初めは緊張していた園児も終わるころになると「楽しかったあ」という声が聞かれました。



「尚絅学園みらい募金」～奨学資金および教育研究振興の充実のための募金～の報告とお願い

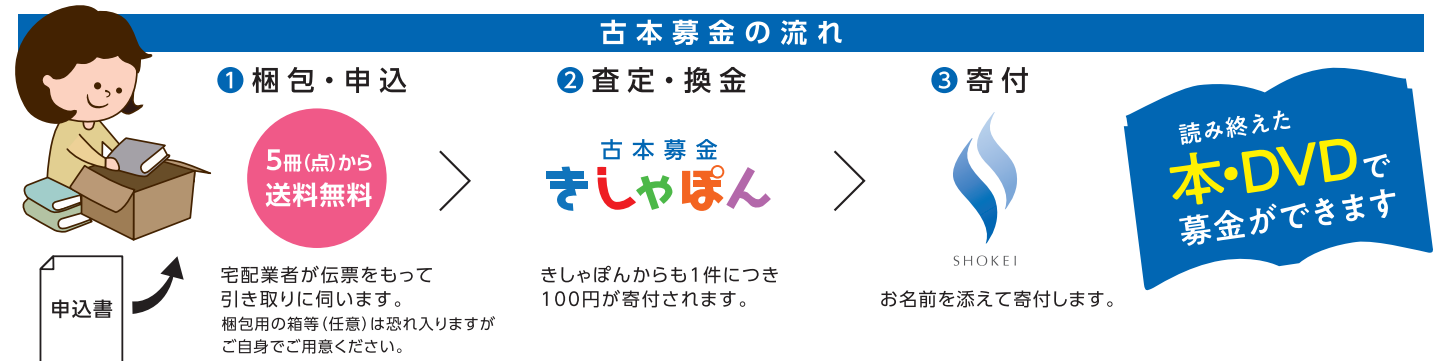
寄附者芳名録

令和5年4月1日～令和5年10月31日現在

ご寄附をいただきました方々のご協力に感謝し、ご芳名を掲載させていただきます。

寄附金内訳			
個人・法人等	2件 / ¥3,300,000	現旧役員・教職員	2件 / ¥450,000
		合計	4件 / ¥3,750,000
現旧役員・教職員・個人・法人等 (順不同)			
池満 淵様	山縣 ゆり子様	光多制服(株)	(株)尚絅サポートセンター

古本募金の流れ



〈WEBで申込む〉 [尚絅学園 古本募金](http://kishapon.com/shokei-gakuen/)

Kishapon.com/shokei-gakuen/ (受付)24時間・365日

〈電話で申込む〉 ☎ 0120-29-7000

オペレーターに団体ID [172](#) とお伝えください。(受付)9時～18時・365日

同窓会だより

〈各同窓会の名簿データ整理へのご協力のお願い〉

会員組織の強化のために皆様の情報提供をお願いしたいと考えております。下記の連絡先までご連絡をお願いいたします。

尚絅学園花桜会

〈尚絅学園花桜会活動〉

新型コロナウイルスが今年5月8日から「5類感染症」に位置付けられ、花桜会活動も少しずつ活動を再開しました。

昨年度で中止していた「花桜会入会式並びに奨学金授与式」を令和5年2月27日(月)に尚絅アリーナにて実施し、189名の新会員を迎えました。礼儀正しく尚絅精神を感じさせられる生徒の姿を拝見しうれしく思いました。

10月25日(水)ホテルキャッスルにて「尚絅学園花桜会総会並びに懇親会」をご来賓8名、会員171名を迎え開催いたしました。

催事では、学園理事長 秋岡廣宣様・インタビュアー すみママ様(S53卒増田素美子)により「マイバックページとこれから」についてのオープンインタビュー、また平成30年に創部された吹奏楽部による「ディズニープリンセスメドレー」を演奏、生徒の活躍に力を頂きました。

懇親会は昭和50年卒業の皆様が計画進行され、同級生ご夫婦による「フルートピアノデュオ」の演奏が披露されました。



ホームページ開設

<http://shokei-kaokai.com>

花桜会

検索

花桜会本部事務局
TEL・FAX.096-372-3400

短期大学部同窓会

〈短期大学部同窓会活動〉

同窓生の皆様、お元気で過ごしのことと存じます。平素は、同窓会活動にご協力、ご支援いただき感謝申し上げます。

令和5年度は、会誌はなさくらの発送、ホームページ掲載、総会、1日旅行も行いました。友人との思い出やそれぞれに学んだキャリアにより話題も豊富で同窓会の活動が有意義に行われました。

同窓会では、一層皆様の身近な存在であるよう進めて参りますので、ご意見、ご要望をお寄せいただければと存じます。

感染症にも引き続き注意しながら皆様のご健康をお祈り申し上げます。令和6年の総会、1日旅行、ホームカミングデイには、たくさんのご参加を期待しています。交流の機会を楽しみにしています。



ホームページ開設

<http://shokeitandaihanasakura.jp>

尚絅短大花さくら

検索

尚絅大学短期大学部同窓会
TEL.080-1726-6688

大学同窓会

〈大学同窓会活動〉

同窓生の皆様、平素より同窓会活動に、ご理解ご協力いただきありがとうございます。コロナも少し落ち着きを見せ始め、キャンパスでも通常講義や実習・様々な行事など以前の日常を取り戻しつつあります。

同窓会におきまして令和4年10月には総会・華甲の会を開催することができました。

また大学同窓会は令和6年に創立45周年を迎えます。それを記念して令和6年6月に総会・大同窓会・華甲(60歳)を祝う会を同時開催する予定です。8・9回生の皆様が対象です。皆様お誘い合わせの上で参加下さい。会報誌「花さくら10号」にてお知らせしておりますが、詳細につきましては改めてご案内いたします。多くの皆様のご参加を役員一同お待ちしております。

Withコロナでの同窓会活動ではございますが、今後ともご理解ご協力をお願い致します。会員の皆様のご健康とご多幸を祈念すると共に、情報交換や交流の場となりますよう今後も活動してまいります。



ホームページ開設

<http://shokei-dosokai.com/>

尚絅大学同窓会

検索

尚絅大学同窓会
TEL.080-1762-9651 (清水)